



赤塚中だより

知を磨き・徳を温め・体を鍛え

平成25年 2月19日発行

水戸市立赤塚中学校
No. 57

平成25年 2月19日

保護者様

水戸市立赤塚中学校長 鯨岡 豊久

「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」について

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、過日、大阪市立高校のバスケットボール部顧問による体罰が背景にあると考えられる、高校生の自殺事案が発生しました。

このようなことは、絶対にあってはならないことであり、大変遺憾であります。また、改めて申し上げるまでもなく、教職員の児童生徒への体罰は、法律でも禁止されており、いかなる場合でも許されるものではありません。

このたび、茨城県教育委員会から依頼があり、県下一斉に「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」を実施することとなりました。本校といたしましても、大阪市の体罰の問題を重く受け止め、早急に体罰の実態を把握することにより、学校生活全般における指導上の課題を明確にするとともに、体罰根絶に向けての教職員の意識向上を図りたいと考えております。

調査は下記のとおり実施いたしますので、なにとぞ御協力をお願いいたします。

記

- 1 調査対象 平成24年4月1日から現在までにあった体罰
- 2 調査方法 アンケート（別紙）による
- 3 提出方法 質問にお答えになった後、中が見えないように、封筒等に入れて、お子さんを通じて学校に届けるか、直接御持参ください。
- 4 提出先 教頭 沼田 祐一郎 あて
- 5 提出期限 平成25年2月25日（月）まで
- 6 その他 お申し出があった場合には、責任を持って事実確認等を行います。

茨城新聞 2月16日（土）より

小林育英会スポーツ奨励賞

赤塚中、笠原中に授与

水戸

スポーツ分野で活躍、努力する水戸市内の中学校や生徒を支援する小林育英会（小林大次郎理事長）のスポーツ奨励賞授与式が15日、水戸市南町2丁目水戸証券水戸支店ビルで開かれ、奨励賞の市立赤塚中、笠原中をはじめ、受賞各校・部活動の代表生徒に表彰状や目録、盾が贈られた。奨励賞に選ばれた両校は、県大会で活躍した中では、部活動が多かったことが評価された。このほか、特別賞は3校から四つの部活動、敢闘賞は2校、マナーアップ賞は5校から五つの部活動が選出された。小林理事長は「スポーツを通しての体験は宝物になる。互いに刺激し合って、大人になってほしい」とあいさつ。来賓の本多清峰市教育長は「努力する中でたくましが身に付く。受賞を契機に活動がさらに充実することを願う」と激励した。同育英会は水戸証券創立者で旧赤塚村長などを務めた小林静氏が1958年に設立。同賞の授与は91年度に始まり、本年度で22回目。



表彰を受ける 中村 啓人 木次 武志 西山 雄登

小林大次郎理事長（右）からスポーツ奨励賞の表彰を受ける赤塚中の代表生徒＝水戸市南町2丁目

▽特別賞 水戸二中女子
体操部、水戸三中男子バスケットボール部、水戸四中相撲部、同男子陸上部▽敢闘賞 常盤中、内原中▽マナーアップ賞 水戸一中男子卓球部、水戸三中ソフトボール部、緑岡中ソフトボール部、国田中剣道部、千波中弓道部